

共有リンクの危険性

学校で配布されるタブレット端末は勉強のための大切な道具です。

レポートや課題、写真などを「共有リンク」で簡単に共有することができます。

共有リンクとは、ファイルや写真などを他の人とインターネット上で共有するための特別なURLのことです。

とても便利な機能ですが、使い方を間違えると大変なことになります。

実際に起きてしまった事例をもとに正しい使い方や気を付ける点を確認しましょう。

実際に起こったトラブルの事例

共有リンクが招く情報漏洩リスク

Aさんは「リンクを知っている人はだれでも見れる」という設定のまま名前や学校名が記載されたクラスの課題、顔が映り込んだ写真をSNSにリンク付きで共有しました。



結果、不特定多数の人が閲覧可能になり、学校外の人にも見られてしまい、名前、学校名や顔写真などの個人情報が流出しました。



共有前に注意しましょう

・設定を確認する

誰が見ることができるのか、編集できる設定になっていないか確認しましょう。

・個人情報に掲載していないか確認する

名前、顔写真、学校名、制服、位置情報など、個人を特定できる情報は載せないように注意しましょう。

・不安なときは相談する

内容に少しでも不安を覚えたら保護者や学校の先生に相談しましょう。



見落としがちな共有設定の落とし穴

共有リンクは「**限定公開**」や「**リンクを知っている人のみ**」と表示されるため、送った相手だけが見えるものだと思います。

しかし実際には、リンクは簡単に転送やコピーができ、

クラスの**グループチャットやSNSに貼られることで、**

知らない人にまで一気に広がってしまう可能性があります。

また、共有されたデータの中の、個人情報以外にも画像の背景の写り込みなど、わずかな情報から個人を特定されることもあります。

一度ネット上に出た情報は、保存やスクリーンショットにより、あとから完全に消すことはできません。

共有リンクは便利な反面、一度流出してしまうと拡散につながる危険性があることを忘れないでください。

